

マサミ・タカハシ先生 講演会

主催：立命館大学生存学研究センター「生存のナラティブと質的研究会」

2015年7月14日（火）18時～20時半（無料・申込み不要）

18時-19時半 講演会 / 19時半-20時半 情報交換会

立命館大学衣笠キャンパス 学而館2階 第3研究会室

講演者

マサミ・タカハシ

（ノースイースタン・イリノイ大学 高齢者心理学）

Masami Takahashi, Ph.D.

Professor, Department of Psychology,
Northeastern Illinois University



「アンチエイジング」を問う：

歳をとらずにシワをとる？加齢現象をどのように考えるか

「アンチエイジング」（抗加齢）という言葉が最近よく聞かれますが、これに踊らされる心理的理由、影響等についてはどう考えたらよいのでしょうか？元々は加齢についてのポジティブな側面を照らすための「サクセスフルエイジング」から派生した概念ですが、その医学的・機能的（量的）側面を強調しすぎるために、歳を重ねるといふ象徴性・意味性（質的側面）を無視する傾向が見られることに警鐘を鳴らしてみたいと思います。

企画・司会：やまだようこ（立命館大学）



ナラティブと質的研究会

公益社団法人日本心理学会ナラティブと質的研究会
日本発達心理学会ナラティブと質的研究分科会

※問い合わせ：narrative123@gmail.com

※キャンパスへのアクセス

[http://www.ritsumei.jp/accessmap/
accessmap_kinugasa_j.html](http://www.ritsumei.jp/accessmap/accessmap_kinugasa_j.html)
（右のQRコードもご利用ください）



※駐車スペースがございませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用下さい。

主催：立命館大学生存学研究センター「生存のナラティブと質的研究会」

共催：日本心理学会ナラティブと質的研究会・

日本発達心理学会ナラティブと質的研究分科会